

飼料イネ圧ぺんモミは和牛肥育仕上げ期の圧ぺん大麦の代替はできる

福島県農業総合センター 畜産研究所 沼尻分場
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

畜産 - 肉用牛 - 畜産栄養
分類コード 07-02-39274900

2 担当者

矢内清恭・遠藤孝悦

3 要旨

黒毛和種肥育において、国産飼料割合を高めた飼料給与技術を確立するための1手法として、出荷前3カ月間の肥育仕上げ期に追加給与する圧ぺん大麦を飼料用イネの圧ぺんモミで代替給与したところ、良好な産肉成績を維持したことから、飼料イネ圧ぺんモミは輸入濃厚飼料を代替する国産飼料として有効である。

- (1) 沼尻分場産黒毛和種去勢牛10頭を供試牛とした。対照区の4頭は出荷3カ月前には配合飼料を1kg減じて圧ぺん大麦を1kg追加給与、1～2カ月前は配合飼料を2kg減じて圧ぺん大麦を2kg追加給与する慣行法により管理したのに対し、試験区の6頭は出荷前3カ月間慣行法で追加給与している圧ぺん大麦の代替として飼料イネ圧ぺんモミを給与した。
- (2) 圧ぺんモミの嗜好性は良く、追加給与したことによる飼料摂取量の低下は見られなかった。また、疾病や障害の発生もなかった。
- (3) 枝肉重量は、対照区4頭平均で527kgに対し試験区は541kgで共に良好な成績であった。
- (4) 肉質のうち、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪の厚さ、歩留まり基準値、脂肪交雑の程度を示すBMSNo.については、対照区がそれぞれ63.8cm²、8.7cm、3.2cm、74.0、7.0に対し、試験区はそれぞれ60.3cm²、9.1cm、2.9cm、74.0、7.0であり共に良好な成績であった。
- (5) 仕上げ期の管理が最も影響する肉色(BCS)、光沢、締まり、きめ、脂肪の色(BFS)、脂肪の光沢と質についても、対照区で4.0、4.5、4.5、4.5、3.0、5.0、試験区では4.0、4.3、4.3、4.5、3.0、5.0で差はなく、問題のある牛は1頭もなかった。
- (6) 以上から、黒毛和種肥育仕上げ期における国産飼料割合を高めた飼料給与技術として、慣行法で追加給与する圧ぺん大麦を飼料イネ圧ぺんモミで代替給与することは可能である。

4 その他の資料等

なし